

第7回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会  
環境整備・PTA・コミスク部会 (会議録)

会議の名称	第7回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会環境整備・PTA・コミスク部会
開催日時	令和5年12月19日(火) 午後7時から
開催場所	山岡振興事務所 2階大会議室
議題	(1) 「部活動に関すること」について ・児童生徒への部活動に関するアンケート内容の協議
報告	(1) 「校舎の増築・改修に関すること」について ・理事会(12/6)：増築校舎の配置計画案、及び設計に関する提案事項 ・校舎の増築・改修の今後の流れ (2) 「スクールバスの運行に関すること」について事前調査状況
公開非公開の別	公開
出席者	委員 若森 慶隆 安藤 常雄 三宅 勝彦 太田 礼子 酒井 基之 鈴木 則彦 安藤 真由美 川上 容子 吉田 美恵子 永田 満依子 後藤 純一 平林 将人 片桐 慎一 細江 幸次 後藤 理恵 松村 友美 山田 宗則 大石 佐緒理 佐藤 美保 教育委員会 丸山 頼彦 長谷川 椋 小栗 研 横田 洋平 市川 太一

会議の内容            会議録のとおり  
傍聴者の数        4名

事務局            皆様こんばんは。12月押し迫ったとき、今日7回目の部会を開催させていただきます。早速始めさせていただきたいと思います。まず、部会長様から一言よろしくお願ひいたします。

部会長            改めまして、こんばんは。師走の12月、お忙しい中、今日もこうしてお集まりをいただきまして大変ありがとうございます。山岡という地ですので、寒天に代表される寒いところですが、この山岡も変わってきておまして、今言いました寒天も、昭和の初めに始まったものが、100年近くを経て、最盛期は百二、三十工場あったと思うんですけど、それが今一桁になってます。そんな状況で、世の移ろいとともにごうしたことも変わってきました。この中学校の再編問題も、ごうした世の中のごう合わせるということですが、今日も活発な議論をいただき、いい方向へ導きを出せるようによろしくお願ひをいたします。

事務局            ありがとうございます。では、これより早速ですが、議事、議題のほうに入りたいと思いますので、ここよりは部会長様の進行でよろしくお願ひいたします。

部会長            それでは、協議事項に入らせていただきます。(1)の部活動に関するごうのアンケートの内容についてお願ひをします。

事務局            失礼します。こんばんは。

前回に引き続き、今回も部活動について皆さんに協議していただきたいと思ひます。事前に配付させていただいた資料の拡大版が、今、テーブルの真ん中にありますので、今日、事前に配付したものか、机上に置いてある拡大版を見ながら議論を進めていただきたいと思ひています。

内容としましては、今回お示したアンケートの案を見ていただき、訂正箇所があればその訂正箇所について議論をしていただきたいこと。それから、追加のアンケート項目、あるいは削除したほうがいいアンケート項目等々、その内容について議論していただきたいと思ひています。その中で、訂正したいなごうものに関しては、ごういった文言に変えたほうがいいのではないかとごうところまで話を進めていただけたらと思ひます。併せて、追加したいなごうアンケート項目に関しても、ごういった文言で聞いてみてはごうかということでご提案いただければと思ひますので、よろしくお願ひをします。

続いて、そのアンケートを子どもたちに示すわけですが、そこに示す際に、例えは、前回皆様にお示した恵那市内の部活動一覧表を一緒に提示することはごうかなとか。子どもたちに恵那市内の部活動一覧表を示すことで、例えは、小規模の小学生、中学生に関しては、中規模の学校がごうな部活動をやってるんだ。じゃあ、ごういう部活をやってみたいなごうという1つ参考資料にはなるとごう思ひます。ただ、示すことで、逆にそれに縛られてしまっ、子どもたちの自由な意見が狭まるかもしれないごうな、両面あるかなごう思ひますので、その辺りに関して、アンケートを取る際に、子どもたちに同時に示すと

いいような内容、あるいは、逆に示さないほうがいいんじゃないかということも併せて協議していただけたら幸いです。

大きくその2点について、これからグループで討議をしていただきたいなということと思ってます。およその目途としては、20分から30分程度の時間だと思ってますので、また皆さんの様子を伺いながら、こちらでまた声をかけさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

私からは以上になります。

部会長 では、早速グループごとにやらせていただいてよろしいでしょうか。じゃあ、私たちも前と同じように入らせていただきますので、お願いをします。

部活動に関するこのアンケート内容について～グループ討議～

事務局 それでは、全体協議に移りたいと思います。すみません、今日は、園、小、中という順番で発表いただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。では、まず園からお願いします。

こども園部会発表者

前提的に、まず、このアンケートをする上で、前回までの話に参加してる私らとかなら分かる内容というのが結構あるような気がしてて。現状の中学、保育園の保護者なんか、こども園の保護者なんか特に分からない、現状の活動の状態とかを、まずは保護者とかにも、保護者や小学生にも分かってもらった上でアンケートを取らないと、これ、ばーんと出されてもイメージがないなど。

なので、順序的には、中学校の意見をある程度、小学校やこども園にも下ろしつつ、今の、7年度までにどうなるのかも踏まえて。あと、冬期が今どうなってるのかも正直分かんないんで。冬の部活動とか、そういうのも踏まえて、今、この間、先生が話された、週に2回ぐらい、30分、1時間とかって、そういうのも全部1回ちゃんと周知できるようにしてもらったほうがいいよねと。その上で説明して、このアンケートになかったところとして、部活動自体がまず必要かどうかということも含めてアンケートには入れるべきなんじゃないかなと。

あとは、やっぱり小学生とかがこのアンケートをするには、答えるには難しいかなという。クラブの、保護者クラブ、民間クラブ、教室の違いとかも分かんないんで。子ども向けとはいえ、中学生もそうですけど、保護者と一緒に答えられるようなアンケートのほうが分かりやすいのじゃないか。家で一緒に回答できるような。

あとは、基本習い事という記述に全部まとめちゃったほうが分かる人もいるかなと。クラブやジュニアの違いもそうですけど、ほんとに分からない言葉が多過ぎる。

あとは、恵那市や、ほかのクラブの例というんですか、何があるか知らないんですよ。ジュニアがどこにあるとか、クラブどこに行ってるかなんて、上からちらちらって聞いた情報しかなくて。そのクラブ所属してますよもそうですけ

ど、どんなクラブがどの辺にあって、どこにいろんな人が通ってるかとか、実態が分からなくてイメージが湧かないなど。

あとは、紙面上じゃなくても、この間みたいな Google のアンケートとかでもいいんで、どの人でもちゃんと答えられるような環境というか、すぐに集計できるようなもので、早めに情報を下ろしてもらえると、いろいろとありがたいんじゃないかなと。

あと、いろんな人と接する。その部活がなくなるのか、あるのかは分かんないですけど、クラブ活動にしてもそうなんですけど、全校で部活の垣根を越えたような交流活動みたいなのも必要かなというのもちょっと感じております。

すみません、いろいろと、ちょっと最後のほうぐだぐだになりましたが、こんな感じで。ほか何かありました？はい。こども園はこんな感じになりました。

事務局 ありがとうございます。

では、続いて小学部会お願いします。

小学校部会発表者

すみません。今日、たまたまメモしてたのが僕しかいなかったもので、ちょっと僕のほうから発表させていただきます。

中学生のお子様を持つ保護者もいらっしゃいまして、実際にこのアンケートを子どもにしてみたら、いろんな問題が起きたので、それをベースにちょっと話をしました。

まず、中学校のほうのアンケートですが、3番のところ、自由記述ということがありますが、なかなか自由記述といわれてしまうと、なかなか書くことが書きづらいので、これも選択肢を設けたほうが、実際、気持ちを伝えやすいんじゃないかというご意見が出ました。

もう少し話をさせていただきますと、これ4択で、とても充実しているからで始まりまして、まあまあというのと、あまりというのと、全くとありますが、まあまあとかあまりの判断が自分の中ですること非常に難しいので、とても充実、満足しているというのと、満足してないの2択にしてはどうかという意見でまとめました。

選択肢について、ちょっと細かいですが、ちょっと申し上げますが、満足しているという中の理由については、やりたい部活がある、それからチームが強いから、それから仲のいい友達がいるからというような選択肢を理由として挙げてみてはどうか。もう一つ、満足してないほうの理由としまして、そもそも入りたい部活がない、部活動の時間が短か過ぎる、部活をそもそもやりたくない、こんなような選択肢をそもそも与えてみてはどうかというような意見が出ました。

それから、5番の記述については、これなくてもいいんじゃないかという意見がありました。

それから、一番最後、あったら入りたかったクラブの種類ということにつきましても、あったら入りたかった部活、4番に同じような内容がありますので、これも、9番については必要ないんじゃないか。

あと、このあったら入りたかった部活動については、先ほどちょっとこども園の方でも意見が出ましたけど、実際にどんな選択肢があるかというのは非常に分かりづらいので、前回の部会で示されました、市内に実際にある部活動、こちらを示した上で、あったら入りたかった部活について記述をしてもらったらどうかと。ただ、学校名と地区については、ちょっとこれは消しておいて、部活動だけ名前を出した状態で資料として示したらどうかと、こういう意見が出ました。

それから、小学校のほうですが、2番の部活動について、またその理由というのがありますが、これもちょっと選択するのが非常に分かりづらいので、部活動に入りたいのか、もしくは入りたくないのかという質問に変えてはどうかという意見が出ました。その理由、これもまた自由記述ということになっておりますが、自由記述は非常に難しいので、これも選択肢をあらかじめ与えて丸をつけるような形にしてはどうかという意見が出ました。

具体的な選択肢としましては、この部活が好きだから、それから新しいことに挑戦したいから、それから小学校で既にやっているからというのが部活に入りたいという理由の選択肢。それから部活に入りたくないという選択肢といたしましては、やりたい部活がない、それからほかのクラブに入っているから。これ、忙しいから入れないという意味ですが、クラブに入っているから。それから入ると忙しくなりそうだからというのが、入りたくない理由の選択肢として具体的に挙げてみてはどうかという話が出ました。

それから、3番のあったら入りたい部活動というところがありますが、今は運動系や文化系、化学系など、幅広く自由にとというふうに記載がございますが、この運動系や文化系。文化の化の字を化けるという意味ですね、これ吹奏楽とか演芸も全て入りますが、運動系や文化系という言い方でどうだろうかという意見が出ました。

先ほどの中学校のと似ておりますが、4番の期待することについては、これについては聞かなくてもいいんじゃないかという意見が出ました。

先ほど、こども園の方からも出ましたけど、現状、とにかく、今、中学校の部活というのはこんなふうになってますよという。例えば、時間がこれぐらいであるとか、週に何回しかできません、冬の間はほとんど部活動はできませんという現状をお伝えした上で、このアンケートを取るべきじゃないかというお話が出ました。

それから、小学校につきましても、実際に中学校で行われている部活、こんな部活がありますよという一覧表を示した上でアンケートを取ることが必要じゃないかという意見が出ました。

はい、以上でございます。よろしく申し上げます。

事務局  
委員

ありがとうございます。

すみません。さっきの中学校のこの、2番の、現在所属の部活動、何部という、むしろ所属してないというほうの、所属してない人の理由まで拾ったほうがいいんじゃないかとの、さっきそういう意見が出ました。というのは、ど

うしてかということまで言わないと、そういう人の意見も拾わないと。あと、9番の、あなたが入りたかったクラブの種目ということなんで、クラブの場合は、みんな、何ていうんですか、地域だけじゃなくて、入りたいところに入ってやってるから、これは聞かなくてもいいんじゃないかなということです。

事務局 はい、ありがとうございます。

では、中学校お願いします。

中学校部会発表者

まずは、訂正部分からです。例と番号の質問の番号違ってたんで、そこ。小学校のほうは、⑤が飛んでいる。訂正のところはそれです。

じゃあ、内容行きます。まずは、中学生のほうですけど、現状やっぱり今やっている、部活をやっているのは中学生なので、その中学生には、今の現状をどう考えとるかということ聞かないと。それを反省というか、それを基にして新しいクラブをどういうふうにしていくかというところには、今の中学生は現状がどうなのかというところが欲しいので、もっとこうしてほしいところがあるとか、そういうところの項目が欲しい。

要は、満足はしとるけど、ここをこうしてほしいかった。満足してないのはどうしてかというのもある、そういう理由もあるかもしれないですけど、満足しとるけど、部活はこれでいいけど、もうちょっとこうしてほしいとか、そういうのもあるので。そういうところから次の部活について考える基になるんじゃないかなと思うんで。中学生については、ちょっとこういう、現状を把握するような質問の項目が入るといいかなと思いました。

ここからはちょっと希望というか、このアンケートとはちょっと離れますけど。転部が自由にできるような。なんで、このアンケートからでも、何ていうんですかね、その部活に入ったらもうその部活だみたいな感じが、小学校のほうでも第一希望、第二希望って書いちゃったんで。そうでなくて、自由に移っていけるような部活のほうの方が本当はいいのではないかというのと。

あと、これも将来的なことなんですけど、チームスポーツばかりになると、これから、合併した当初が一番多い人数だけど、これから少なくなっていくということは、選定の部分で、チームスポーツばかりをやりたい子が多いからってつくっても、そのうちになくなってしまおうと今度、多いときにやるのは簡単かもしれないですけど、減ってくときに部活をやめるとするのは結構大変なので、その辺も考えて設定していくのがいいのではないかな。これはアンケートとは違うかもしれないが、そういう意見が出ました。

今度、小学生のほうは、やはり部活リストはつけておいたほうが、やはり、ちょっと漠然とし過ぎて分からないんじゃないかということがありました。

最後の、小学校のクラブのほうは、これ並べてあるんで同じよう、中学校と小学校と同じように見えるんですけど。現在入ってるクラブを、小学生のクラブがあるので、それを把握できると、今バスケを何人やっとする、バレーを何人やっている、卓球何人やっているということが分かるので、ちょっと事前にそういう数が把握できると参考になるんじゃないかと思いました。

いいですかね。はい。そんなところですよ。以上です。

事務局

汚い字でちょっと読みづらいですが、言っていた意見、大事なところが抜けたら、まず教えていただきたいですが、よろしいですか。小・中それぞれ、見にくいかもしれないですけど。

何か端折っちゃったところもありますので、後で僕がお伝えするときに手挙げて教えていただけたらと思います。

そうしましたら、まず、どこのブロックからも出てきた、現状を伝えることが大事だろうというご意見でしたので、ここは、アンケートを取るときに確実に伝えていくということになろうかと思っています。

項目については、ちょっと若干の違いもあったので確認をしたいと思います。種目については、恵那市内で行っている種目を一覧表にして、子どもたち、小学生に向けて提案すると。提示する。これ、それで、まず、よろしいでしょうか。学校名は伏せるといふか、恵那市内にはこういう部活があるよということ伝えていきます。

それから、活動内容は、既に大体こちらでもつかめていますので、今の現状を、中学生には当然伝える必要がない学校もありますので、小学生に、今の現状はこれぐらいですよということを伝えていく。これもよろしいですか。

クラブの実態。これが、どこら辺りまで伝えていくかということがなかなかつかみ切れてないところもあるので。もし、このクラブの実態を伝えていくとなると、中学生に先に質問をしておいて、その後、小学生に向けてということになるんですが、その辺りどうでしょうか。今の見通しとしては、ここで、ほぼほぼ完成形のものを確認して、年末ですので、年明けに、小学校・中学校に取りたいなということを思っています。年明けると、中学校のほうですと、年初めに、どの学校も実力テストが入ってきたり。それから、中3は受験前ですので期末テストが1月頭にあるんです。それを考えると、中学生にはその次の週ぐらいに早くても取ることになるかなと。1月中旬ぐらいになります。それを受けて小学生となると、さらに小学生はその後になっていくので、それをちょっと考えていきたいなと思っていますが、どうですかね。

事務局

どういうレベル感で聞かかっていうところで。

委員

中1に、一番上の子が中1に上がったときの部活を選ぶとかそういうときに、ほんとに何も分からない状態だったんですけど。まず、部活にはまず入らなければいけないという岩邑の決まりがあつて。でも、中体連にじゃない、試合に出るには大体クラブにも入ってなきゃいけないという。それは、多分、決まりじゃないけど暗黙のルールみたいなのがあつて。ていうのを入学してから知りました。なので、何かその辺の、部活というのは、こんだけあります。だけど、試合に出るには、それプラス、クラブ活動もしなきゃいけない。で、クラブ活動というのは、親がどの程度の負担がありますというのが事前に分かっているとうれしかったなと思いました。

なので、そこまで出せるのか分かんないですけど、もし小学生に出せばいいかなと思います。

- 事務局 分かりました。はい。
- 委員 それで、さっき言い忘れた。中学生の親にもアンケートを取ると、その辺がすごくよく分かるんじゃないかなと思いますけど。多分、大体のクラブチームは親なんで、保護者クラブが多いと思うんですけど、保護者がどんだけ動いとるかが、多分、子どもたちも分からないので。そこを把握したいなら、親にも取らんと分からんかなと思いますけど。
- 事務局 確かに、今の部活の現状から考えると、クラブはもう切っても切れない状況です。いざ試合に出ようとする、当然、今のお話のように、部活だけの子どもにとっては、試合にすら、当然、ルールも分からないような状況の、状態もあるので、切っては切れないんですよ。ただ、今回のアンケートでそこまで行くと、ちょっとボリュームが多過ぎちゃうのかもしれないな、なんてことを思っています。
- 今回は、中学生に今の部活の現状を中心にまず聞くところがスタンスでどうかかなということは思っています。当然、今のご意見のとおり、保護者の方にクラブとの兼ね合いで負担があるので、その辺りを今後詰めていかなければならないかなと思いますし。新しい学校の部活動を考える上では、当然、地域の保護者の方々の、クラブの指導者とかいうところも、当然、含めて考えていかならんので考えていくと、1つ、非常に難しいところですが。
- 事務局 部会でできることは、何ていうのかな、ここではやっぱり決め切れないんですよ。最終的にはね。子どもたちがどうしたいかということと、学校での受入れ体制というようなことをまた話合いし、それに希望を伝えておいて、じゃあ新しい中学校ではこういう選択肢を条件としては出せようか。そうなった場合、こことここは、もうちょっといろいろ詰めとかないといけないよねというところを。それはもう、学校さん、または子どもさんとの話になってくるのかなって思って。私らのどういう、この委員会でもどこまでこう細かな情報を知り得とく必要があるのかなというレベル感が非常に難しいのかなと、今、僕思いました。いろんな思いがあるので。じゃあ、子どもたちに聞こうとしたのは、まず、やっぱり子どもたちの思いが集まらないことには次のステップに行けないよなというレベル感を考えたときにすると、あまりクラブの細かなこととか、そこまではなかなか聞き取りにくいのかなという、私の感想ですけども思っています。
- 委員 私は外部と言ったらいかんけど、今の現状とか、そういうのも必要だと思うんです。子どもたちは、かなり期待をしてるし、説明会でもね、クラブ活動は、部活は選択肢増えますよとかっていう話も出てるので。ただ、取りあえず、そういう制約なしに、やりたいこととか希望を聞いて。まだ6年生の子が3年生になるまでは、中学なるまでは時間があるので、こういう条件、制約が付きまますよとかいうふうにしていったほうが。最後、学校のね、部活見たときに、実際、たくさんつくったけど、入る人いない、そういうことになる。
- 事務局 そうですね。
- 委員 別にアンケート1回しかやったら駄目ということはないと思うので、段階的に

やってもらえばいい。

事務局 そうですね。1回切りということではないと、確かにね、そうですもんね。ここでやった、こういう結果が出た。だけど、じゃあ、それを見て、ここをもう少し深掘りしないと分からないなというところは多分出てくるんですよ。

委員 1ついいですか。前回、多分、話、僕したと思うんですけど、令和7年度以降に、部活動じゃなくて、クラブ活動への以降を順次考えているという話だったじゃないですか。

事務局 それ県の話。

委員 で、これ、合併するのが令和8年度じゃないですか。今、令和8年度合併に向けて、のときのクラブ活動に向けて考えてますよね。でも、7年度に移行しちゃったとして、恵那市がですよ。そしたらこれ、そもそもやることがないじゃないですか。そこら辺をどう考えてますか。

事務局 その辺りは、平日の完全地域移行はないです。今の現状で、平日は学校部活動、土日が保護者クラブということで今進めています。なので、令和7年度に今の学校部活動がなくなりますということはありません。

委員 ないと。

事務局 はい。

そうしましたら、ちょっとアンケートの現状を伝えるというところに戻りまして、クラブの実態については、ちょっとまた今後の検討課題ということで、一旦保留にさせていただいて。今回の子どもたちに伝えるところでは、種目の一覧と、恵那市の現状の活動。これも学校は出さずに恵那市の平均的なところでの提案がいいかなんてことを思いますが、どうでしょう、よろしいですかね、そんなところで。いいですか。じゃあ、そういうことで現状を伝えます。

じゃあ、続いて、アンケートの取り方についてなんです。園のほうから、保護者と一緒に家でどうかなというご意見。それから、タブレットでアンケートどうかなということを出していただきました。事務局のほうでは、学校で、担任の先生が補足説明をしながら、その中で取るということイメージしておったんですが、いろんな意見をお聞きいただいたんで、アンケートを取る場所について、ちょっと確認をしたいなということと思いますが。その辺りは、小・中は何かご意見出ましたか。

委員 もうタブレットで取るものやと思ってた。

事務局 タブレット。家で取る、学校で取るなんていうご意見は特には。

委員 学校の、ちょっと聞いたときに、朝の会とか帰りの会ぐらいしか時間がないんじゃないかということ言われて。子ども、結構じっくり考えさせる内容じゃないですか。それをちょっとその短時間で、急がせちゃったら、もう欲しい答えじゃなくなっちゃうと思うので。学校でその時間が取れるのであれば学校でもいいですけど、お家もありなんかなって思うんですけど、そのスピード感。バックのスピード感が欲しいのであれば、お家でってなると、また1つ長くなっちゃうのであれですけど。学校に下ろして、各学校に下ろしていただくときに、短時間じゃないところでじっくり考えてもらってみたいながあればいいで

すけど、ここでは。

- 事務局 はい。中学校のところ、何かご意見ありますか。
- 委員 その点は出てなかったですね。
- 事務局 そうですね、これもちよっと現場に下ろしてみんことには難しい。
- 委員 タブレットであれば家に帰って。
- 事務局 できますね。
- 委員 一緒にできるし、その場で返信できる。学校のあれでも、全部、その場で返信してるので、その辺はできると。
- 事務局 分かりました。お願いしていく中で、子どもたちにはちよっと補足説明をしながら、担任の先生から提示をしていただく。その中で、答え切れなかった場合には、家の持ち帰りも当然込みで考えて。子どもたちにも、じっくり考えたい子にはじっくり考えてもらって、家で一緒に考えてもらう時間も取って集計をしていくという方向でよろしいですかね。
- タブレットで、答えたら、もうその都度、親機のほうにはその集計結果が来ますし。訂正したら訂正したで、それがまた入ってくるので、そんなふうでいいですかね、ここに関しては。はい、ありがとうございます。
- では、中学生の皆さんに対するアンケートの項目について確認をしていきます。小学部会のところを出してもらったところですが、まず中学校への皆さんへの2番、今所属している部活動と、所属していないという文言がありますが、所属していない子たちにはその理由を問う。ここもよろしいですかね。ここも選択制がいいですかね。ぽんぽんと、さっき出していただいたように選択制で拾っていく。
- 中の3番、現在所属の部活動について、とても、まあまあ、あまり、全くというものを2つにしてみてもどうかというご意見がいただきましたが、この点について、どうでしょうか。思い切って2つにしてみまじょうか、二者選択。で、その中で、さらに記述ではなく選択制にして、そこにチェックを入れてもらう。その他というのをつくっとけば、そこに該当しないお子さんも何か書いてくるかもしれませんので、選択プラスその他というような形で、言いたいことをちゃんとと言えるように、拾えるように準備していきたいと思います。
- 続いて、中の4番に関しては、事前にこの現状を伝えるということになるので、それで示していけるかなと思います。
- それから、中の5番ですが、小学部会のほうでは、なくてもいいかなというご意見と。一方、中学校のほうでは、現状をつかむための質問内容があったらいいかなというご意見でした。実はこれ考えたときに、この中の5番の項目が、今の中学生がどんなことを思ってるのかなということを聞いたかった項目なので、ここがちよっとご意見が分かれたとこなんですけど、どうでしょうか。聞き方が難しいんでしょうね、きっと。
- 事務局 そうですね。実際アンケート取られたお子さんが何を書いていいか分からない。
- 委員 自分の子どもに、これをもらったときに渡して。次、中学1年生いるので、で、ちよっとこれやってみてっていった答えが、全く、ほぼ無回答。で、丸打てる

ところしか打ててないということで。これ何で書いてないの？って聞くと、何書いていいか分からない。で、あったら入りたかった部活動って言われても。

事務局

何があるか分からない。

委員

山岡は今、テニスとバレーとバスケしかない。それ以外のじゃあ選択肢で、じゃあ野球なの？みたいな。男の子がやってるやつに入ればいいの？みたいなことに。文化系があるとかというのはね、恵那市の全体を知ってる人は分かるけど、その住んでる子とか、恵那の西中とかに文化系があるなんていうことは分からないので。

委員

すみません。ちょっと違う意見で。サッカー部とか、恵那になくても入りたかった子は絶対おるんで。水泳やってる子もいるし、剣道、柔道やって頑張ってる子もおるし。レスリングとか、そういうやつ個人でやってる子だっておるんで、それを把握せんとあかんと思うんで。恵那市にあるから、ここに入るといいう質問じゃなくて、もう世の中にあるやつの中で何に入りたいかというところを、それを中学生に。これ小学生じゃなくて中学生に聞いとかなと。はい。と、思ってこれは。これはあったほうがいいかなと思うのは、現状。現状、串原なんか卓球しかないんで。けど、サッカーやりたいという子もいるかもしれないんで。はい。で、そこのことじゃないかなと思うのと。あと、5番のほうは、これ統合って書いてあるので分かんと思うんですけど。僕が言っとるのは、今の中学校の、今の部活に対して、どうしたら。どういう希望があるとか、どういう反省点があるようなことが聞けないと、それでないと、多分、中学生も分かんないと思いますので。

委員

統合中学校の部活動じゃなくて。

委員

じゃなくて。

委員

現部活動について、どう思っているかという項目にしたほうがいいんじゃないですか。統合中学校の部活動について期待することではなくて、今の現状の部活動について、どう思っているか、どうしてほしいかという感じにしたほうが答えやすいんじゃないですか。

事務局

今の部活動について、どう思ってる？というような質問。

委員

そう。そのほうが書きやすいんじゃないか、今の中学生。

事務局

ありがとうございます。

では、ここは自由記述というような形にして、書けない子どももいるかもしれませんが、書いてくれる子どもたちの意見を拾っていくというような形で残したいと思いますが、よろしいですか。中のほう。

委員

例みたいのがあると。

事務局

ああ、なるほど。

委員

そういう、ちょっとした一言でも文言があれば書きやすいんじゃないかなと。

委員

部活の時間とか。

事務局

時間。

委員

そう、時間。試合とかクラブ。冬短いとか。そういうのが一言あれば。中学生が困っちゃう。

委員 ちよつと違う。多分、多分ですけど、中学生の親からすると。中学生だったら、今、部活やっとする子なら、多分、何もなくても不安なことがあるから書けると思うんですけど、中学生なら。

事務局 分かりました。

委員 ほかのことも、あんまり選択肢を与え過ぎちゃっても、逆にそこを選んじゃって本心が書けなかったりするんで。ちよつと、できれば自由が多いほうのほう、中学生の親からすると。

事務局 ああ、なるほど。

委員 うん。多分、面倒くさいやつは丸書いて終わりなんで。ただ、それも必要だとは思うんですけど、ちよつと書いてもらう、書いてもらえるほうのほうが生 의견が拾えるんじゃないか。多分、思いがある中学生なら書くんで。思いのない子は書かないと思いますけど。

事務局 今のところは確かにね、思いがあるからこそ書ける、書ける項目なんで。思いがない、そこまでない子は空白になるのかなと、そういう。

委員 そうです。空白になる。それでいいと思うんですけど。

事務局 ありがとうございます。

委員 では、ちよつと戻って、中学部の皆さん、中の3のところ、選択プラス自由記述ということで、ここはよかったですか。妥協案じゃないですけど、そういうことで。

委員 それでいい。

事務局 書けない子もいるということも踏まえて、選択制プラス自由記述。中の5番に関しては、今の部活動について、どう思ってるのかということで、自由記述で書いてもらうというふうにしたいと思います。

委員 すみません、入ってない、そもそも所属してない子は、もうここら辺は書かなくていい感じですか。

事務局 書かないですね。はい、そうですね。いいですか。

委員 じゃあ、続いて、中学校の6、7、8番のところ、クラブについてなんですけど。中学生に聞く質問もクラブではなく習い事でくくってしまったほうがいいのか。中学生はクラブという言葉でも理解ができるで、このままでもいいのかというところについては、どう思われますか。

委員 多分、部活、スポーツを把握するなら、中学生はクラブってなると。多分、習い事っていうと、習字とか英語とか、そっちの想像に行っちゃうので。クラブと習い事は、多分、中学生は違うと思うんで。

委員 クラブや習い事。

事務局 クラブや習い事。

委員 なので、そこまで習い事。さっきもちよつと、すみません、ここで出た話、今、思い出したんですけど、この教室とかでも、要は部活にするに当たって、文化系の習い事をしてる子もいるので。要はピアノとか習字とか英語とか。で、それを基にした部活だってあり得るので。書道クラブとか、ピアノ、音楽クラブとか。それこそ吹奏楽とかありますけど、そっちとかもあるので、どこまで把

握するのかもしれない。

事務局 自分がこの項目を考えた基になっているのは、学校の部活動が地域移行に変わっていくという国や県の流れを受けて、そもそも何を願っているのかなって考えたときに、中学生の子どもたちが学校以外でも自分の可能性を広げられる活動にチャレンジできてるということが分かってうれしいなということを思っています。

以前は、やっぱり学校の部活動が中心だったので、それが命というような形だったんですけど、多様性が認められるようになってきたってことと、学校部活動イコール全員加入ではないという今の社会情勢から、子どもたちが、自分ができるものが学校部活動以外にあって、そこで自分の可能性を伸ばしていけるなら、ほんとに学校の部活動の存在自体も考えていく、今、そういうところになってきているので。子どもたちが、実際、中学校の時間が終わって、放課後や土日にいろんな活動をしているということが分かってうれしいなということで、こんな項目をつくったんです。

そんな願いを考えてもらったときに、クラブや習い事っていうことであれば、自分の聞きたいことが聞けるかな、なんてこと思っていますが。そんな落としどころでいいでしょうか。クラブや習い事。

じゃあ、一旦ちょっとそれでチャレンジしてみたいと思います。よろしく願いします。ありがとうございます。

続いて、中学校の最後9番、あったら入りたかったクラブの種目というもの。これも聞くかどうか迷いどころだなということを思って、ここに入れたので、小学部のほうでは、なくてもいいんじゃないかというご意見いただきましたが、ここについてはどうでしょうか。

委員 クラブ。

委員 体操クラブとか、新体操クラブとか。

委員 あったら。僕の地域にはないけど、あれば入りたかった。

事務局 そうですね。それが聞けたとて。聞けたとて、つくってやれるかということにもなっちゃいますね。

じゃあここは、なしということで。ありがとうございます。

中学校に関することに関しては、中学部のほうから出していただいた、自由に転部できる仕組みとか、個人種目をつくるなどというところは、今回のアンケートには盛り込まずということで、よろしいですかね。

委員 はい。

事務局 じゃあ、中学校へのアンケートについてはこんなところかなと思いますが、僕が落としてしまった案件があれば。

委員 ちょっと書き方ですけど、複数。6番、7番ですけど、バスケットに入るとって、習い事を、それこそピアノとかの場合は、それについて、7番、8番、聞きたいのか、分かるようにしないと。

事務局 そうなんです。そうしたいなと思っています。

委員 そういうふうに回答できるようにしないと。

事務局 そうしたいと思っていますので、パソコンに堪能な方にちょっと聞いてみます。思うようにいかんかったら、難しかったんだなということで。そんなふうに聞きたいと思っています。

中学生に聞くアンケート、こんなところでよろしいですか。ありがとうございます。

では、続いて、小学校に聞く内容です。まず小の2番、部活動についてということで、とても、まあまあ、あまり、全くを2つの選択肢にして、自由記述のところも選択制でどうやろうかということでご意見いただきました。この点については、よろしいでしょうか。中学生でも、より、ここは選択ができるような形がよろしいかと思えますので、記述も選択にということで、さっきしゃべっていたいただいた内容がありますよね。

事務局 はい。後で伝えます。

事務局 続いて、小学校の③番、これ私のミスですので、運動系や文化系の化が化けるという字にして、化学系を、当然、文化系の中に入れてということで質問紙を変更しておきます。ここについても、あとはよろしいですかね。はい。

それから、小の4、ここをなしでどうかというご意見いただいておりますが、ここについてはどうでしょうか。小の4。新しい学校の部活動について期待すること。聞いても難しいかなというご意見ですが。

委員 そこ、保護者と一緒に書く。今、山岡の。出たのが、今クラブ通ってる子とかは、今後、合併したときに、そのまま試合出られるかとか、そういう不安があるよって話を聞いたので。別にここは、あったらあったで、ある人は書く、なければ書かなくていいぐらいな感じで。別にあってもいいんじゃないですか。バレーの、中津川のクラブというのもあったんで。あったらあったで。

事務局 ご意見いただきました。何かあったら書いてねということで残しておくというご意見いただきましたが、よろしいですか。そうやって書いとけば、ない子はスルーしていくということで。じゃあ、そんなふうで、あったら書いてねということで残しておこうと思います。

小学校へのアンケートについては、こんなところですかね。何か僕が落としてたところがあれば教えてください。はい。

委員 3番の、あったら入りたい部活動のところ、種目等を拾いたいの、考えていないはなしのほうがいいかなと。考えられなかった子は空白で出てくるんじゃないかなと思って。

事務局 そういうことか。これは、思いとしては入りたくないという。

委員 それ2番で聞きますよね。

事務局 ああ、全く考えていない。

委員 2番で、入りたいか入りたくないにして、楽しみとかじゃなくて。で、その入りたい子の理由が、楽しみとか、今、スポーツやってるから。

事務局 ああ、なるほど、なるほど。

委員 さっき挙げていただいた。で、入りたくない子が、ここで拾えるかなと思うんで。

事務局 分かりました。3番の、今はまだ考えてないというものは、もう消してしまっ  
てということですね。

委員 はい。

事務局 ご意見いただきました。よろしいですかね、ご意見。じゃあ、入りたくない  
と考えてるのは2番で拾っていけるのでということなので、はい、ありがとうご  
ざいます。

小学生に向けたアンケート、ほかよろしいでしょうか。ありがとうございます。  
短い時間で協議していただいたんですけど、ほんと30分にもかかわらず、た  
くさんのご意見いただけたので、大分アンケートの内容がブラッシュアップで  
きたなということを思っています。

一応、めどとしては、先ほども申したように、1月の中旬ぐらいをめどに、  
小・中で、それぞれ、これを聞いていただけるように進めてまいりたいと思  
います。アンケートを取る期間としては、大体1月の中旬ぐらいの1週間ぐらい、  
学校によって、なかなか都合がうまくつけないところもありますので、1週間  
ぐらいのスパンで、その間で取っていただいて。集計したものをこちらで見や  
すいように、グラフなのか、そのまんま直打ちなのか、ちょっと別として、見  
やすいように皆さんにまた提示できるのが、その後、1月下旬ぐらいになるか  
なってことを思っていますので、そんな見通しで行きたいと思います。ありが  
うございました。

委員 すみません。ちょっと質問で、中学校のアンケートが終わった上で、その情報  
を仕入れてから小学校。

事務局 いえ、今回は一緒に行きたいと思います。小・中同時に。はい。

委員 保護者への説明とか保護者用のアンケートはなし。

事務局 保護者へのアンケートも今回はなし。これはまた次回以降かなと思いますので。  
まずは今回、子どものみで行きます。

委員 はい。

部会長 はい、お疲れでした。じゃあ、今協議していただいたことはボードのほうでも  
確認をいただきましたんで、そこで整理をしていただいてということでやりた  
いと思います。

じゃあ、続きまして3番、報告のほうに入りたいと思います。

まず(1)のほうで、2つありますので、校舎の増築・改修に関すること  
ですが、12月の初めにありました理事会の内容について説明をお願いします。

事務局 はい。では、報告の(1)の①のところ。皆様から、いろいろ協議をして  
いただいて、増築校舎の配置計画とか、あと、こんな学校につくっていき  
たいという提案をいただいたものを、12月6日理事会ございました。ここで皆  
様にお話しさせていただいた後、提案どおりでご承認をいただいております。  
そういう形で、今後、具体的な今度は設計のほうに入って、工事のほうに入  
っていくと、こういう流れで今進んでおりますことを、まずは1点ご報告させ  
ていただきます。

引き続いて、この②のほうになりますので、そこもご説明させてください。

事務局 そうしましたら、私のほうから②の校舎の増築・改修の今後の流れということで、今日お配りしております資料をご覧ください。今後の大まかな流れということで、例えばいつ頃工事が始まるとか、いつ頃現場が終わるのかなというようなことをちょっとイメージさせていただきました。

まず現在ですが、基本設計、今、順調に進んでおりまして、今月ないし来月頃には基本設計が完了するかなと思っております。完了後には、一度、この環境部会のほうで図面のほうをお見せしたいなと思います。現状、配置とパースしかお見せしていないので、実際にじゃあどんな平面、どんな間取りになるのかというのをお示ししながら、ここはこうしたほうがいいんじゃないかとか、ああいった意見どうなったの？ということがあれば、また設計者に返して、それが反映された後、今度、実施設計のほうに入っていきたいと思います。

実施設計のほうでも、例えば、普通教室の一部屋をこんな感じにしたいですってイメージができましたら、また皆さんにお見せして、ちゃんとICT化が進んでるかとか、木を使うって言ったけどどうなったかというのも確認をしていただきたいなと思います。それが今年度中に2回ほどできればいいなと思います。

それが終わりましたら、もう実施設計のほう、積算という業務に入りまして、実際にお金が幾らかかるのかというような業務に入ります。それが終わるのが、令和6年度の第一四半期終わる頃、大体6月頃かなと思っています。

実施設計が終わりましたら、入札契約事務に入りまして、令和6年度の第三四半期、大体秋頃に、校舎の増築工事と、今の校舎、体育館の改修工事にかかれるかなと思います。校舎の増築に関しましては、大体1年ぐらいかかるという予定です。校舎の増築が終わる頃に、多分、夏頃になりますので、皆さんを対象とした、保護者の方とか、子どもたちを対象とした見学会を実施したいなと思います。

校舎と体育館の改修につきましては、やっぱり今いる、山岡中学校の子を移動しながらの改修工事になりますので、ちょっと長期間になりますが、大体、令和6年の第三四半期から、令和7年度の開校直前頃まで、改修工事を行いたいなと思います。

また詳細のほうが決まりましたら、随時、ご報告させていただきますので、よろしくをお願いします。

部会長 はい。今、まとめて2つの事項について説明ありましたが、質問とかありますでしょうか。よろしいですか。

じゃあ、続きまして、(2)のスクールバスの運行に関することについての状況をお願いします。

事務局 はい。では、私のほうからスクールバスの運行に関することについてお話をさせていただきます。前回の環境部会でも少しお話をさせていただきましたが、現在、令和8年度に、どこにお子さんが実際にお住まいか、中学生がお住まいかということデータを、実際にそういう、運行ができる専門の業者さんのほうに情報を渡して、バスの運行ルート、それから時刻表、こういっ

たものを、今、実際にシミュレーションしてつくっていただいているところで、この成果が、今年中に一旦上がってくるということになっておりますので、それをいただいて、教育委員会のほうで一旦精査した後に、来年の、次の部会で、何とか早ければ皆さんにお示しをしたいと、こんな段取りで今考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

部会長  
事務局

じゃあ、この後、その他について、事務局から何かありますか。

はい。ちょっとこのレジュメには書いてなかったんですが、今、皆様に会議のご案内を封筒で、紙で、最終的に送らせていただいている方法を取ってます。これを、ちょっといろんな方からお声をいただいた中で、学校の保護者様のほうに、すぐーるという機能で、学校から連絡が入るシステムを、今、運用しておるわけなんです、そのシステムをこの準備委員会でも取り入れて、それでご案内するという形を取れば、すぐ来るし、毎回毎回、紙でじゃなくてもいいんじゃないの？というご意見もいただいた中で、こういう方法にちょっと変えていければいいかなというふうな考えを持っておりまして、皆様に今日ちょっとご意見を聞こうかなと思ったところなんです。

で、つくるとすれば、準備委員会。その中で、また、この環境部会の皆様という、そういうグループをつくって、そこでご案内するという形になります。また、そのグループ用の登録をしてもらおうという形にはなりますけれども、保護者様、学校から連絡来てるよという方は、大体どんなシステムかお分かりかなとは思いますが、どうですかね。それで通知が来て、確認して、ああ、この日で、こんな内容で、会場ここだ。よろしいですかね。せっかくある今のデジタルツールは使ったほうがいいよねって、ちょっとご意見があったものから、ちょっと皆さんにお伺いしてるところです。

委員  
事務局  
委員  
事務局

それって保護者の方以外の方も見えるんですか。

そうです。だから新しいことを。

つくると。

そうですね。今回は保護者の方以外でも登録もらえればそれでできますので、グループをつくるという形になるので、それは可能ですので。よろしいですか。ちょっとそういう方向に。ほかの部も、全体的にそういう方向に変えようかというご提案をちょっと皆さんに順次お聞きしたいなと思ってました。じゃあ、ちょっとその方向で、これからちょっと準備をしていくということで。ちょっとそれがいつになるか、ちょっと準備でき次第ですけれども。じゃあ、そういう形を取らせていただきたいと思います。まず1点はこれでした。じゃあ、もう1点。

事務局

はい。もう一つ、私のほうからお話をさせていただきますが、今日の会議で、今年の、年内の会議は終わりです。次回はもう来年、年明けてからということになるわけですが、3月まで、3月で1回、年度の区切りがあります。そうしますと、次の委員の方、今日参加しています皆さん、委員の方の変更という話がグループによっては出てくるかなと思います。例えば、今、PTA会長です

ので参加させていただいております。小学校のPTA会長なので、この委員で参加させていただいておりますが、小学校のお子さん、みんな卒業されて中学生になっちゃうので、来年は違う方に、例えば引き継ぎますというようなことが、多分、出てくるかと思います。

そのご案内を、まず、今の現のPTA会長さんでありますとか、保護者会の会長さんでありますとか、地域自治会の会長さん宛てに、まずお手紙を出します。変更する可能性がある方については、今後手続をしていただきますというようなお手紙を、年が明けましたら、2月ぐらいまでには出させていただきます。実際には、新しいPTA会長さん、令和7年度のPTA会長さんでありますとか、保護者会の会長さんに指名していただくことになるので、令和7年度になったら、4月以降ですね、そうしたら。

事務局 6年度では。

事務局 ごめんなさい、令和6年でした。令和6年度になりましたら、再び新しいPTA会長さん宛てに変更がありませんか、変更があるのであれば次の方を教えてくださいという。継続であれば継続であるということをお教えくださいという。案内を出させていただきますして、委員の方の意向の手続を、これから、来年入りましたら連絡をさせていただきますので、ご承知おきのほうよろしくお願いたします。

以上です。よろしくお願いたします。

部会長 今回の件はよろしかったでしょうか。私どうしてもやるという人はやらしてもらえりゃ。

事務局 そうですね。PTA会長さんに言ういただければ全然構いませんので。できれば、ほんというと同じ方のほうがね、よく分かってみえるのでいいかなとは思ってますが、それはもうご自由でございしますが、はい、よろしくお願いたします。

部会長 はい、お願します。じゃあ。

委員 いいですか。

部会長 はい、どうぞ。

委員 変わるタイミングって。ちょっと面倒な話なんですけど、上矢作だとPTAの役員じゃない人がやらしてもらってるのもあるんですよ。僕はたまたま役員でやってるんですけど。なので、例えばPTAの役員がやるって決まれば、年度替わりで、すばっとなるかも分からないんですけど。そこからまた、新しい役員からまた決めるってなるとタイムラグが出てくると思うんで。それまでは、現状の役員、担当にやらしてもらおうということになるんですけど。

事務局 そうですね。

委員 いつまで変わるとか、そういうのは別に、もう変わったときで。

事務局 今年と同じようなタイミングになると思います。今年は総会が終わった直後に話を、アンケートというか、調査させていただきましたが。

委員 5月終わりぐらい。

事務局 そうです、5月。同じぐらいのタイミングでこの手紙を出す、調査をお願す

ることになると思いますので。恐らく、それまでは会議が開かれな  
いと思います。新しい役員さんがきちっと決まるまでは。今年度の方  
に、引き続き、それまでやってもらいますよなんていうことには多  
分ならないと思いますので。はい。ですから、前年の方が途中まで  
出てということには多分ならないんじゃないかなというふうには思っ  
てます。はい。

委員 分かりました。

部会長 よろしいですか。はい。じゃあ、年が明けて、次回のこの部  
会の予定ですが。はい。今回は、日にちがなかなか決め切れてない  
というのは、先ほどちょっと申しました、スクールバスの状況が年  
度内に出てきて、それを精査してというものがあつたものだから。  
一応、予定は1月下旬には開きたいと思っておりますので。これ改  
めて、またご連絡を差し上げます。めどということしか今日はちよ  
っとお示しできないかなとは思ってますけれども。中・下旬という  
ことで思っていたければありがたいかなと思いますので、すみませ  
ん、よろしくお願いいたします。

部会長 場所だけは決められますよね。場所はちょっとあれですか。

事務局 順番で行けば、恐らく明智というところで考えたいと思  
います。

部会長 じゃあ明智ということで。はい。

じゃあ、一応、今日の予定としてはここまでまいりました。特に  
言っとかなきゃいけないとか、漏らしましたという方があればお願  
いします。よろしいですか。

事務局 1個いいですか。

部会長 はい。

事務局 ごめんなさい。こっちに戻っちゃいますけど、現状を伝える、  
小・中学生に今こんな部活があるよというところで。市内の部活動  
一覧と、あとちょっと広げて、県内にある、その他の部活動ぐら  
い。例えばサッカーとか柔道とか、その辺りを示しておく必要があ  
るかというところをちょっと確認だけさせてもらいたいんですけど。  
どう思われますかね。

委員 現実的に試合ができないでしょ。

事務局 試合はできないです。そうですね、はい。

委員 少なくとも地区大会、地区大会じゃない、東濃大会とかで  
実施されとるような種目にしないと。

事務局 そうですね。

委員 つくっても試合できないですね、現実的に、恵南とか恵那市  
にチームがなければ。クラブと部活は違うので。

事務局 そうですね。そしたら、市内にある部活動一覧と、そうす  
ね。東濃大会にある種目ぐらい、あつたとして。ただ、それがサ  
ッカー。サッカー、柔道ぐらいなもんですけど、あとは。

委員 それか合唱部がある。

事務局 ああ、そうですね。合唱。

委員 今年明智は、水泳部。水泳で中体連から。

事務局 水泳も東濃大会ありますね。  
委員 県大連から東海まで行つとるから。ちょっと、それが、市はないですよ。  
事務局 そうですね。  
委員 東濃もあるのかどうか分からん。  
事務局 東濃地区には水泳部がある学校もあります。  
委員 ほんなら。  
事務局 ただ、プールがちゃんと稼働している学校ですけど。  
委員 スケートとかって。  
事務局 はい？  
委員 スケート。  
事務局 スケート部は、実際にはないですね。はい。  
委員 クラブしかない。  
事務局 クラブしかないです。スケート部というのはないですね。ただ、中体連の種目にはあります。ここが中体連の矛盾をはらんでるところなんですけど。例えば、フィギュアスケートも中体連の種目にはあるんですけど、実際、部活はありませんし。県内でも新体操や体操の中体連の大会もあるんですけど、実際、部活動でそんな学校はないですし、矛盾をはらんでいるんですけど。じゃあ、今回は東濃大会、中体連の東濃大会にある部活動ぐらいを拾って、こういったものが近隣の学校にはありますよということで提示してみたいと思いますので、そんなふうでご理解ください。ありがとうございます。

部会長 はい。何か意見ありますか。  
委員 いや、ないです。  
部会長 いいですか。じゃあ大変お疲れさまでした。これをもちまして、第7回目の会議のほう。  
委員 すみません。  
部会長 はい。  
委員 最後に。次はスクールバスでいいんですか、議題。  
事務局 次はスクールバスの議題に入りたいと思ってます。  
委員 資料は先にくれる？  
事務局 もちろん。ここで、いきなりはしませんので。  
委員 ですよね。それが、すみません、欲しかったなと思います。  
部会長 じゃあ、そういうことだそうですので、これをもちまして終了とさせていただきます。お疲れさまでした。  
事務局 お疲れさまでした。